

江戸川高等学校定時制 令和5年度 教科 国語 科目 国語表現 年間授業計画

教 科： 国語 科 目： 国語表現 単位数： 2 単位
対象学年組：（ 第4 学年A組～B組）
教科担当者：（ 4 年A組：井上康佑 ）（ 4 年B組：井上康佑 ）
使用教科書：（ 教育出版「国語表現 改訂版」 ）
使用教材 ：（ 担当教員作成のプリント等 ）

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	○語句の学習 ○文章表現の基礎 1. 表記の仕方 2. 語句の用法と文の区切り 3. 文章のリフォーム	○慣用句・熟語などさまざまな語句の読み書き、その語句を使った短作文練習 をすることで、語彙を豊かにする。 ○日本語の表記のしかたを理解し、正しく文章を書き表すことができる。 ○現代仮名遣いや送り仮名についての知識が身につく、漢字仮名交じり文につ いて理解できる。 ○語句の意味や文法の特徴を正しく理解して表現できるとともに、記号や符号 によって適切に文を区切り、わかりやすい文章を書くことができる。 ○文末表現や適切な文の長さ、正しい係り受けについて理解し、正しい文章を 書くことができる。	指導目標が達成できているか を、授業時のプリント・課題 の提出などで、評価する。 教材の音読や、授業中の発言 なども、評価する。	4
5 月	4. わかりやすい説明の方法 ○中間考査 ○語句の学習 ○小論文 1. 意見を論理的に述べる	○どのような情報を、どのような順番で書けば、わかりやすい説明になるかを 考えて書くことができる。 ○慣用句・熟語などさまざまな語句の読み書き、その語句を使った短作文練習 をすることで、語彙を豊かにする。 ○小論文とはどのような文章か理解できる。	中間考査の点数を評価する。 指導目標が達成できているか を、授業時のプリント・課題 の提出などで、評価する。 教材の音読や、授業中の発言 なども、評価する。	6
6 月	○語句の学習 2. 文章の「型」一構成の方法 3. 構成ノート 4. テーマ型小論文の実践	○慣用句・熟語などさまざまな語句の読み書き、その語句を使った短作文練習 をすることで、語彙を豊かにする。 ○論理的文章適した文章の「型」を知り、三段構成の機能を理解することがで きる。 ○構成ノートの書き方や留意点を理解し、構成ノートを書くことができる。 ○テーマ型小論文の書き方を理解できる。	指導目標が達成できているか を、授業時のプリント・課題 作文の提出などで、評価す る。 教材の音読や、授業中の発言 なども、評価する。	7
7 月	4. テーマ型小論文の実践 ○期末考査	○与えられたテーマに基づいて、実際に小論文を書くことができる。 ○期末考査に向けて、語句的な面を中心に復習をする。	課題（小論文）を評価する。 期末考査の点数を評価する。	3
8 月				
9 月	○語句の学習 ○言葉遊びと創作 1. 言葉遊び 2. 俳句をつくるために一俳句鑑賞	○慣用句・熟語などさまざまな語句の読み書き、その語句を使った短作文練習 をすることで、語彙を豊かにする。 ○意欲的に言葉遊びに取り組もうとしている。 ○言葉遊びをとおして、言葉の多様な機能への理解を深めている。 ○さまざまな俳句を鑑賞し、味わおうとしている。 ○俳句についての基礎的な知識を理解できる。	指導目標が達成できているか を、授業時のプリント・課題 の提出などで、評価する。 教材の音読や、授業中の発言 なども、評価する。	6
10 月	3. 俳句をつくる ○中間考査 ○語句の学習	○意欲的に俳句作りに取り組み、表現しようとしている。 ○中間考査に向けて、復習をする。 ○慣用句・熟語などさまざまな語句の読み書き、その語句を使った短作文練習 をすることで、語彙を豊かにする。	課題（俳句）を評価する。 中間考査の点数を評価する。	6

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	○声の表現 1. 声を出そうー発声・発音 2. 文字を声に変える 3. スピーチの方法	○発声のために必要な呼吸の仕組みと方法を理解できる。 ○発音に注意しながら相手に届く声を出そうとしている。 ○文の構造を理解し、その意味が伝わるように、声の高低や間を工夫しながら音読しようとしている。 ○スピーチをするための事前の準備について理解できる。	指導目標が達成できているかを、授業時のプリント・課題の提出などで、評価する。 教材の音読や、授業中の発言なども、評価する。	5
12 月	4. スピーチ 声の発表会「私のおすすめBOOK（または○○）」 ○期末考査	○おすすめの本など紹介を、要点をおさえ適切にスピーチすることができる。 ○他の人のスピーチを集中して聞き、評価することができる。	期末考査の点数を評価する。 指導目標が達成できているかを、授業時のプリント・課題の提出などで、評価する。 スピーチの実践や、授業中の発言なども、評価する。	3
1 月	○語句の学習 ○言葉を届ける 1. 電子メール 2. 電話とメモ 3. 手紙	○慣用句・熟語などさまざまな語句の読み書き、その語句を使った短作文練習をすることで、語彙を豊かにする。 ○電子メールの特徴や留意点について理解できる。 ○電話対応の注意事項を意欲的に理解し、実際の対応に生かそうとしている。 ○手紙や連絡文の形式、適切な言葉遣いを理解することができる。 ○スタイルや形式にそった手紙の表現ができる。	指導目標が達成できているかを、授業時のプリント・課題の提出などで、評価する。 教材の音読や、授業中の発言なども、評価する。	5
2 月	○卒業考査	○卒業考査に向けて、復習をする。	○卒業考査の点数を評価する。	2
3 月				

年間授業計画様式

東京都立江戸川高等学校定時制

教 科：公民 科 目：政治経済 単位数：2 単位
 対象学年組：第 4 学年A 組～ B 組
 教科担当者：（ A 組：仁上 ）（ B 組： 仁上 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
 使用教科書：（ 最新「政治経済」実教出版 ）
 使用教材：（ なし ）

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	・オリエンテーション ・現代国家と民主政治	・民主主義の成立過程に関して歴史的に理解する。 ・現代国家に民主主義がどのように活用されているか理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	2
5 月	・日本国憲法と基本原理 ・人権の拡大と公共の福祉	・日本国憲法の成立過程について具体的に理解する。 ・自由権がどのような人権かを判例から理解する。 ・社会権がどのような点で新しい人権と呼ばれるのか具体的に理解する。 ・人権と人権の衝突からどのような問題が生じるかを理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	6
6 月	・日本の政治制度と政治参加 ・公正な裁判 ・司法の民主的統制	・日本の統治機構に関して権力機構相互の抑制均衡の観点から理解する。戦後の復興期から現代までの経済の流れを把握する。 ・裁判所の役割に関して具体的に理解するとともに、近年の司法改革について知る。 ・現代社会の諸課題 司法の民主的統制のためにどのような制度があるかを理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	5
7 月	・広がる人権の考え方	・社会権など人権の広がりについて理解する	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	6
8 月	・新しい人権	・プライバシー権、環境権、自己決定権など新しい人権について理解を深める。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	4
9 月	・地方自治と住民福祉 ・政党政治	・地方政治が国政とどのような点で類似し、また、差異があるかを具体的に理解する。政党の役割について理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	3

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
			与直の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	
10月	選挙制度 ・現代経済のしくみ	- 選挙制度に基本について理解する。 18歳の政治参加の影響について理解する - 市場の機能と経済主体の役割について理解する。	- 身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 - 視覚的教材を活用するようにする。 - 評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	7
11月	- 現代経済のしくみ - 現代の日本経済と福祉の向上 現代の国際経済現代社会の諸課題	- 国民所得概念について把握する。 - 金融の果たす役割について理解を深める。 - 日本の財政問題と今後の課題について理解する。 - 日本経済の変遷に関して理解する。 - 貿易と国際収支の基本に関して理解する。 - 国際経済の課題について基本的理解を深める。	- 身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 - 視覚的教材を活用するようにする。 - 評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	7
12月	2学期のまとめ	1学期に学習した内容を理解できているかどうかテストを実施し理解不十分部分についての補習を行い、内容を理解する。	- 身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 - 視覚的教材を活用するようにする。 - 評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	2
1月	・現代社会の諸課題	- 現代社会にどのような課題があるかについて理解を深める。 - 我が国における少子高齢化対策について理解を深める。	- 身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 - 視覚的教材を活用するようにする。 - 評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	4
2月				
3月				

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式

江戸川高等学校 令和6年度 教科数学科目数学Ⅱ 年間授業計画

教 科： 数学 科 目：数学Ⅱ 単位数： 2単位
対象学年組： 第4学年A組～B組
教科担当者： (A組：蚊屋) (B組：蚊屋) (○組：) (○組：)
使用教科書： (新高校の数学Ⅱ 数研出版)
使用教材： ()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	複素数	負の数の平方根、複素数の相等について、等式を満たす実数の値を求める。	負の数の平方根、複素数の相当について理解する。	6
5月	複素数の加法、減法 中間考査	複素数の加法、減法について計算する。	複素数の加法、減法について計算することができる。	8
6月	複素数の乗法	複素数の乗法の計算をする。	複素数の乗法の計算ができる。	8
7月	複素数の除法 期末考査	複素数の除法を計算する。	複素数の除法を計算することができる。	8
8月				
9月	2次方程式の解	2次方程式の解を求める。	2次方程式の解を求めることができる。	8
月	2次方程式の解の判別 中間考査	判別式について理解する。	2次方程式の解の判別をすることができる。	8
月	解と係数の関係	解と係数の関係について理解する。	解と係数の関係について理解することげできる。	8
月	平均変化率 期末考査	平均変化率について理解する。	平均変化率を計算することができる。	8
1月	極限值	極限值について理解する。	極限值を求めることができる。	8
	卒業考査			

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				
3 月				

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式

江戸川高等学校 令和6年度 教科数学科目数学A 年間授業計画

教科：数学 科目：数学A 単位数：2単位
対象学年組：第4学年A組～B組
教科担当者：(A・B組：蚊屋) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：)
使用教科書：(高校数学A新訂版 実教出版)
使用教材：()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	集合と要素	集合と要素、部分集合について学習する。	集合と要素、部分集合について理解する。	5
5月	全体集合と補集合 中間考査	全体集合と補集合について学習する。	全体集合と補集合について理解する。	6
6月	共通部分と和集合、空集合	共通部分と和集合、空集合について学習する。	共通部分と和集合、空集合について理解する。	8
7月	集合の要素の個数 期末考査	集合の要素の個数について学習する。	集合の要素の個数について理解する。	4
8月				
9月	和の法則と積の法則	和の法則と積の法則について学習する。	和の法則と積の法則について理解する。	8
月	順列 中間考査	順列の考え方について理解する。値を計算する。	順列の考え方について理解することができる。値を計算する。	8
月	条件がついた順列	条件がついた順列について学習する。	条件がついたじゅんれつについて理解することができる。	8

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
月	円順列、重複順列 期末考査	円順列、重複順列について学習する。	円順列、重複順列について理解することができる。	4
1 月	組合せ	組合せの考え方を学習し、総数を計算する。	組合せの考え方を理解し、総数を計算することができる。	8
2 月	組合せの利用	組合せの利用について学習する。	組合せを利用することができる。	8
3 月	学年末考査 最短経路の道順	最短経路の道順を求める。	最短経路の道順を求めることができる。	3

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式例

江戸川高等学校令和6年度 教科：理科 科目：科学と人間生活 年間授業計画

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数： 2単位
 対象学年組： 第4学年A組～B組
 教科担当者： (A, B 組：高橋幸大)
 使用教科書： (科学と人間生活＜新訂版＞ 実教出版)
 使用教材： ()

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学 期	熱と温度 熱量の保存 速さと速度の違い 加速度	熱と温度について理解する。 熱量保存の法則を実験を通して理解する。 速さと速度の違いを方向を考えた上で理解する。 加速度の考え方を理解する。	授業の態度 出席状況 授業プリントを埋め、自分で まとめることができる。実験 プリントを提出できる。	18
2 学 期	力の表し方。 力の種類を理解し、表記 実験に取り組み、仮説から理論を確認	力を考え、しくみを理解する。 いろいろな種類の力を考え、図示できる。また、仮説を考え、推論立てられる。	授業の態度 出席状況 授業プリントを埋め、自分で まとめることができる。実験 プリントを提出できる。	21
3 学 期	波の重なり、定常波 災害について	波をバネなどの実験現象から、重なりや定常波を理解する。 災害について考える。	授業の態度 出席状況 授業プリントを埋め、自分で まとめることができる。実験 プリントを提出できる。	6

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式

江戸川高等学校定時制 令和6年度 教科 英語 科目 コミュニケーション英語Ⅱ 年間授業計画

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 単位数：2単位
対象学年組：第4学年A組～B組
教科担当者：（X組： ）（Y組： ）
使用教科書：（ VISTA English CommunicationⅡ SANSEIDO ）
使用教材：（ なし ）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	3学年の復習	3学年の内容を再学習する。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
5月	Lesson1 Birthdays, Here and There	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 形式主語・形式目的語・現在完了進行形等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
6月	Lesson1 Lesson2	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 形式主語・形式目的語・現在完了進行形等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
7月	Lesson2 The Galapagos Islands	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 形式主語・形式目的語・現在完了進行形等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
8月				
9月	Lesson3 Shodo Old and New	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 名詞を修飾する分詞・知覚動詞・tell～to do等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
10月	Lesson3 Lesson4	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 部分否定、助動詞や完了形の受動態、関係代名詞非制限用法等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
11月	Lesson4	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 部分否定、助動詞や完了形の受動態、関係代名詞非制限用法等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
12月	Lesson4 Lesson5	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 部分否定、助動詞や完了形の受動態、関係代名詞非制限用法等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
1月	Lesson5 A	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 過去完了形、強調構文等について理解を深める。	定期考査の内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	
2月				

3月

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式

江戸川高等学校定時制 令和6年度 教科 英語 科目 選択科目 英語会話 年間授業計画

教科：英語 科目：選択科目 英語会話 単位数：2単位
対象学年組：第4学年A組～B組
教科担当者：（ ）（ ）
使用教科書：（ My Passport English Conversation BUN-EIDO ）
使用教材：（ なし ）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	中学校における既習事項の復習	日常的な語句の増強（オリンピック・パラリンピック関連を含む）と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	4
5月	中学校における既習事項の復習 Lesson1 Making Conversation	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	10
6月	Lesson2 At the Hotel Lesson3 Going Sightseeing	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	10
7月	Lesson3 Going Sightseeing	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	4
8月				
9月	Lesson5 Eating Out Lesson6 Going Shopping	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	6
10月	Lesson6 Going Shopping Lesson7 Public Transportation	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	8
11月	Lesson8 Getting Help Lesson9 Going Out	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	10
12月	Lesson9 Going Out	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	4
1月	Lesson10 Taking a Flight	日常的な語句の増強と定着も図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 基本的な機能表現・文法等の定着を目指す。	会話テストの内容、課題の内容、提出期限、授業態度、意欲等、総合的に評価する。	6
2月				
3月				

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式例

江戸川高等学校 令和6年度 教科：保健体育 科目：体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位
対象学年組：第4学年A組～B組
教科担当者：（A組：榎本・福島）（B組：榎本・福島）
使用教科書：（現代高等保健体育(大修館)）
使用教材：（ ）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・何の種目を1年間おこなうか理解する。 ・グループを作ることができる。 ・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的におこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	2
5月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的におこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	6
6月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的におこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	10
7月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的におこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	8
8月				
9月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的におこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	8
	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学）	8

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月		・準備と後片付けの方法を理解し、積極的にこなうことができる。	・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	
11月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的にこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	8
12月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的にこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	2
1月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的にこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	8
2月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的にこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	8
3月	選択種目 （サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、バドミントン）	・ルールと効果的な練習方法を理解する。 ・基礎・基本的な技術の習得 ・試合方法を理解し、実際に試合をおこなうことができる。 ・友達とコミュニケーションを取り、一緒にプレーすることができる。 ・準備と後片付けの方法を理解し、積極的にこなうことができる。	以下の3点を総合的に評価する。 ・出席状況（遅刻、欠席、見学） ・学習態度（行動、学習意欲、安全への留意） ・運動技能（試合結果、技能テスト、記録）	2

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式例

江戸川高等学校 令和6年度 家庭科 フードデザイン 年間授業計画

教科： 家庭科 目： フードデザイン 単位数： 2単位
対象学年組： 第4学年A組～B組
教科担当者： (○組：) (○組：) (○組：) (○組：) (○組：) (○組：)
使用教科書： (実教出版 フードデザイン新訂版)
使用教材： ()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	食生活と健康	食することは生きるための意味合いだけでなく、様々な意味があることを理解し、食事と団らんの重要性を知る。	食事の5つの役割について理解しようとしている。	5
5月	栄養素のはたらきと食事計画	食物摂取の必要性や、健康を維持するために必要な栄養摂取量、ライフステージごとの栄養摂取の特徴を理解する。また、食品に含まれる栄養成分が、体内	栄養素の大切さと身体内での働きについて関心を持とうと	7
6月	食品の特徴・表示・安全	様々な食品について、特徴とその調理性、加工について理解する。また、健康食品やインスタント食品などの食品について、正しい知識を身に付ける。	食品の特徴、調理性、加工について理解できる。	10
7月	食品の特徴・表示・安全	食品に記載された情報の正しい見方を知り、食品選択に役立てることができるようになる。また、食中毒の危険性について知り、正しい知識を身に付ける	食中毒の危険性を理解し、調理実習などの場面で適切な予	6
8月				
9月	調理の基本	調理は食品を食事の目的に合うようにつくりかえることができることを理解する。調理器具や調理の方法を知ること、実際の調理をする前の下	テーマに沿った献立を立てることができる。	14
月	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。作成した献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作る	身支度、手洗いを励行している。協力して後片付けができ	6
月	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。作成した献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作る	季節に合わせて、季節感を感じられる表現ができる。	6

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。作成した献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作る	季節の献立や季節感を出す料理方法について、関心、意欲	5
1月	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。作成した献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作る	季節感を出す食材や食卓のコーディネート、調理法が	5
2月	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。作成した献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作る	食べる人のことを考えて調理に挑むことができる。	4
3月	豊かな食生活をつくる	現代の食生活を見直すために、食育の大切さを理解する。また、学校、家庭、地域、企業ごとの取り組みについて学ぶ。ユネスコ無形文化遺産に登録された	現代の食生活についての現状を認識し、現代的な背景を具	2

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式例

江戸川高等学校令和6年度 教科芸術 科目音楽Ⅱ 年間授業計画

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2単位
 対象学年組： 第4学年AB組
 教科担当者： (A組：白井) (B組： 白井) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：)
 使用教科書： (音楽之友社 ON! 2)
 使用教材： (キーボード、ギター、CD、DVD)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・授業ガイダンス ・音階、各記号について（復習） 歌 ・上を向いて歩こう ・やさしさに包まれたなら	・音Ⅱ授業について、今まで（小、中、高）と音楽教育10年間の総仕上げの意義についての理解 ・楽譜がどのように構成されているか ・ト音記号や8分音符16部音符etcの書き方について ・曲想と歌詞やポップスの文化的背景との関わりについて理解する	・音楽がどのように記譜されているか ・書き方について理解出来ているか→プリント提出 ・歌詞とフレーズとの関連を知覚して、曲にふさわしい発声で表現豊かに歌えているか	4
5月	歌 ・春の日の花と輝く ・さらばジャマイカ 鑑 オペラ 「カルメン」	・曲奏と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う ・オペラについての特徴と文化的・歴史的背景について理解する ・作品のストーリー、場面、役どころを理解し、総合芸術良さや美しさを味わうと共に芸術文化を愛好する	・イメージを持って表現を工夫して歌えるか ・劇中の場面と楽曲との関わりを理解して、歌唱表現の良さや美しさを理解出来たか ⇒鑑賞の記録提出	6
6月	器 キーボード ・音Ⅰの復習 ・喜びの歌 ・聖者の行進 歌 ・夏は来ぬ ・浜辺の歌	・キーボード奏の指番号復習 ・右手、左手、各々何回も練習→両手で演奏する ・リズム取りの練習を充分にする→右手、左手各々何回も練習→テンポを少し上げ練習→両手で演奏出来るようにする ・日本音楽の特徴を生かして、イメージに合った旋律を感じ取って歌う ・発音や抑揚などの日本語の美しさを生かした表現を工夫を考える	・ピアノ伴奏に合わせてきちんと演奏出来ているか ・曲に合わせ音、リズムがしっかり演奏出来ているか ・1人ずつ廻って練習を確認する ・音楽表現を工夫して歌っているか ⇒歌唱テスト	6
	器 キーボード続き ・聖者の行進	・リズム取り復習 ・右手、左手、各々何回も練習→テンポを少しあげ練習→両手で一緒に演奏	・楽器の響きの特徴を感じ取り、その良さを生かして主体的に表現出来ているか ⇒キーボードテスト	2

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月				
8月				
9月	鑑賞 ・マタイ受難曲 BWV244 ・音楽史（中世・バロック～古典派）流れ 器 習） ・ギター（指番号と記号 音楽1の復 歌 ・女心の歌	・楽器の音色と合唱との関連、及び各楽章の主題を知覚し、それらの働きを感じながら表現上の効果について考え、音楽の良さや美しさを味わい聴く ・オーケストラと独唱・合唱の劇的内容表現についての理解 ・世界の音楽に触れ、各国の国の歴史、文化、美しさを感じ取り、作曲者、時代による表現を理解する ・右手記号、左手記号の徹底 ・ギター各部の名称 ・各人で調弦が出来るようになる ・発声、発音の仕方に留意し 歌唱表現の向上を図る ・旋律とリズムの関連を知覚し、のびのびとした歌唱表現を工夫する	・後世に影響を与えた偉大な芸術作品に関心を持ち主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいるか⇒鑑賞の記録提出 ・様々な題材を提示する⇒プリント提出 ・自ら進んで楽器に取り組もうとしているか ・オペラの独唱曲に関心を持ち、それらの良さを理解しようとしているか	8
10月	・楽典 器 ギター（続き）コード練習C, F, G7 歌 ・Ô mio babbino caro（愛しい父よ） ・La serenata（ラ セレナータ）	・コードネーム学習に必要な基本事項の理解 ・C, F, G7コードを使い、3拍子の和音練習 ・「雪山讃歌」のコード練習 ・ピアノ伴奏に合わせてコードを演奏する ・「燃えろよ燃えろ」のコード練習 ・イタリア語の発音の特徴を理解し、旋律や伴奏について感受してイメージに合った表現の工夫をし歌う	・コードネームがどのように記譜されているか ・楽器の響きの特徴を感じ取り、その良さを生かして演奏しているか ⇒ギターテスト（雪山賛歌） ・旋律とハーモニーの働きを感受しながら歌唱表現を工夫して取り組んでいるか	6
11月	・ミュージカルについて「Memory」 歌 ・ていんさぐぬ花 ・芭蕉布 ・Die Forelle（鱒）	・ミュージカルの場面と音楽のかかわりについて考えさせる ・旋律とハーモニーの関わりを感じ取って歌う ・沖縄の曲や音階についての理解 ・民謡の文化的背景と旋律の特徴を理解し、発声の工夫をして歌唱のがくしゅうかつどう取り組む ・三線の説明 ・ドイツ語の発音の特徴を理解し、芸術歌曲（ドイツリート）に関心を持ち、曲想に合った表現の工夫をして歌唱する	・世界の音楽に触れ、各々の国の文化を理解しようとしているか ・我が国の音楽や音楽文化に対し主体的に理解が出来ているか ・芸術歌曲に関心を持ち、曲想と旋律や伴奏との関わりを理解し歌唱表現しているか	8
	鑑 ・交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付き」	・交響曲に関心を持ち、楽曲の構成や歴史的背景を理解すると共に主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む ドイツ語の発音の特徴を理解し、歌詞の内容を理解する	・楽器の音色と合唱との関連及び各楽章の構成との関わりを知覚し、音楽の良さや美しさを味わい聴く	4

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	歌 ・An die Freude(喜びの歌)	・ドイツ語の発音に気を配り、歌詞の内容を理解する ・管弦楽の響きと合唱の関わりをとらえ、表現上の効果を感じ取る	を知覚し、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いているか ⇒鑑賞の記録提出	
1月	歌 ・からたちの花 ・斉太郎節	・日本の音階の特徴を生かした旋律を理解し味わう ・日本語の美しさを感じ取り、歌詞と旋律の関わり・発声と表現を工夫して歌唱する	・曲の構成等理解し、曲の雰囲気を感じ取り主体的に表現を工夫しているか ⇒歌唱テスト	
	・音楽史（～ロマン派～近代・現代）の流れ	・世界の音楽に触れ、各国の国の歴史、文化、美しさを感じ取り、作曲家、時代による表現を理解する	様々な題材を提示する ⇒プリント提出	6
	歌 ・Lasia chio pianga（私を泣かせたまえ）	・イタリアのベルカント唱法、ドイツリート(歌曲)の芸術性の理解 ・旋律や伴奏の特徴を理解して、主体的・協働的に取り組みながら歌う	・歌詞や曲の特徴を捉え、その良さや美しさを感じ取っているか ⇒歌唱テスト	
	・合奏 グループによる楽器演奏を発表	・楽器によるアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む	・それぞれのパートの役割を知覚し、ハーモニーや曲想について器楽表現を創意工夫している ⇒発表会	
2月				
3月				

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式例

江戸川高等学校令和6年度 教科 芸術 科目 美術Ⅱ 年間授業計画

教 科：芸術 科 目：美術Ⅱ 単位数： 2単位
 対象学年組：第4学年AB組
 教科担当者：(A組：菱川らん) (B組：菱川らん) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：)
 使用教科書：(日本文教出版 高校生の美術2
 使用教材：()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・オリエンテーション「想像」と「創造」 ・デッサン基礎「えんぴつについて」	・自分で意図せず描いた丸から生き物を形作る制作に対して想像力豊かに工夫して表現できるようにアドバイスする。 ・作品を相互鑑賞して、お互いの作品から気づかなかった自他の作品の良さを知り、鑑賞の幅を広げる。 ・カッターで鉛筆を削る技能を学び、道具を正しく自在に扱う力を身に付ける。 ・グラデーションを制作し、鉛筆の基本的な持ち方、力加減を習得する。	・課題学習への取り組み姿勢。 ・自作品の説明をはっきりとした声でできたか。 ・準備片付けを含め、意欲的に取り組めたか。 ・使いやすい形に鉛筆を削れたか。	4
5月	・えんぴつデッサン「円筒」	・白い紙を円筒にしてデッサンし、目の前の物体を平面の紙に立体に表現する方法を学ぶ。 ・前作のグラデーションの知識を活かし、美しい陰影を描く工夫をさせる。 ・輪郭線と空間の関係に気付かせ、完成まで粘り強く観察できるようにアドバ	・準備片付けを含め、意欲的に取り組めたか。 ・モチーフをよく観察し、形を注意深くとらえているか。 ・構図、色、線の工夫で作品	4
6月	・えんぴつデッサン「手のデッサン」	・友人と手を見せ合い、形の違いに気付かせることで物の形を観察する力を養う。 ・手のポーズを変えてエスキースを描き、空間を作り出す構図を学ぶ。 ・関節や陰影、質感の違いに注意して、意識して描き分けできるようにアドバ	・観察の結果を意欲的に発言できたか。 ・素描表現に関心を持ち、完成まで主体的に取り組めたか。 ・細部に注目し、質感の違い	6
7月	・絵画・彫刻「販表現」コラグラフ	・版の種類と技法それぞれの違いを知る。 ・参考作品と版を見比べてコラグラフの表現の特性に気付かせる。 ・製版から摺りまで制作過程の見通しができるようにアドバイスする。 ・作品を相互鑑賞し、感じたことや思ったことを話し合う。お互いの作品から気付かな	・版表現に興味・関心を持ち、意欲的に取り組めたか。 ・版と作品の関係を理解して発想し、構想しているか。 ・製版から摺りまで見通しを持って制作できたか。 ・作者の意図や表現の工夫を感じ取ることができている	6
8月				
9月	総合デザイン「寿司の新メニューを企画する」	・握り寿司のビジュアルデザインの資料（宣伝チラシなど）を集め考察し、意見交換する。 ・オリジナル新メニューを考え、その宣伝チラシを作り、企画をデザインする。	・主体的に資料を集め、素材・色・形や感じなどに興味をもって考察できたか。 ・視覚的伝達の効果を考え意欲的に取り組めたか。	6
月	・塑像「寿司の模型」	・日本の伝統的な握り寿司を感じられる色、形を考え美的・効果的な構想をさせる。 ・樹脂ねんどに絵の具を混ぜて制作に必要な色ねんどをつくり、材料を生かした制作をする。	・感性を働かせ寿司の見た目の良さや美しさを感じ取り、創造的表現に結び付けられるか。 ・材料・用具を生かして創造	8
	・切り絵ランプシェード	・照明の資料を参考に効果的な光の演出を考察し、意見交換する。 ・紙による切り絵の特徴を生かし、効果的なデザインになるようにアドバイス	・照明の光の効果に興味関心を持って自分の感じたことを意見として発言できたか。	8

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月			・切り絵の特徴を生かしたデザインであるか。	
月	・切り絵ランプシェード ・鑑賞会	・照明の資料を参考に効果的な光の演出を考察し、意見交換する。 ・紙による切り絵の特徴を生かし、効果的なデザインになるようにアドバイスする。 ・作品を相互鑑賞し、感じたことや思ったことを話し合う。お互いの作品から気付かなかった自他作品の良さを知り、鑑賞の幅を広げる。	・効果的な光の演出のための創意工夫ができているか。 ・用具を正しく使用すること ・作者の意図や表現の工夫を感じ取ることができたか。	6
1 月	・デザイン「イラストレーション」色面分割	・色の要素を学び、明度差を生かした色面構成を描く。 ・資料を集めさせ明度差で画面を分割する。 ・分割された面をポスターカラーで塗り分け、絵の具の基本的な扱い方を習得する。	・明度分解を分かりやすい作品になるように工夫しているか。 ・ポスターカラー絵の具を正しく使用できているか。 ・準備片付けを含め、意欲的に取り組めたか。	6
2 月				
3 月				

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

年間授業計画様式例

江戸川高等学校令和6年度 教科 芸術 科目 書道Ⅱ 年間授業計画

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅱ 単位数： 2 単位
対象学年組： 第4 学年AB組
教科担当者： (A組： 梅田) (B組： 梅田)
使用教科書： (書Ⅱ (光村図書)
使用教材： (

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	●書へのいざない ・私たちは臨書で何を学ぶのか、書の創作に必要なものを考えさせる。 ・合同作品制作（漢字仮名交じり）	●書へのいざない 【知識及び技能】 ・漢字の書・仮名の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書・仮名の書古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて伝える。 ・名筆や現代の様々な書の表現、古典の特徴と、用筆・運筆との関わりについて伝える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう促す。	●書へのいざない 【知識及び技能】 ・漢字の書・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書・仮名の書古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質や字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書、仮名の書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	4
5月	●篆書 ・篆書の特徴を知る。 ・「馬」字を通して篆書の特質とその歴史について理解を深めさせる。 ・石鼓文の臨書を通して大家の書美を学ぶ。 ●隸書 ・隸書の特徴を知る。 ・「平成」字を通して隸書の特質とその歴史について理解を深めさせる。 ・乙瑛碑の臨書を通して隸書の書美を学ぶ。 ・居延漢簡、開通褒斜道刻石の臨書を通して時代、風土、筆者などとの関わりについて学ぶ。 ●草書 ・草書の特徴を知る。 ・「神融筆暢」字を通して草書の特質とその歴史について理解を深めさせる。	●漢字の書（篆書・隸書・草書） 【知識及び技能】 ・篆書・隸書・草書を構成する様々な要素について伝える。 ・篆書・隸書・草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりや、篆書・隸書・草書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて伝える。 ・篆書・隸書・草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、篆書・隸書・草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・篆書・隸書・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に篆書・隸書・草書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●漢字の書（篆書・隸書・草書） 【知識及び技能】 ・篆書・隸書・草書を構成する様々な要素について理解している。 ・篆書・隸書・草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりや、篆書・隸書・草書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・篆書・隸書・草書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、篆書・隸書・草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・篆書・隸書・草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に篆書・隸書・草書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	4
	●漢字の書の作品制作1 ・近代書の作品鑑賞をする。 ・半紙に臨書作品を制作する。（篆書・隸書から好きな古典を選び、古典の書風を基に半紙に好きな文字を書く） ・扇面に臨書作品制作をする。（草書の古典「書譜」の中から好きな文字を扇面に臨書する）	●漢字の書の作品制作1 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせ	●漢字の書の作品制作1 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果	6

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6月	・ミニ屏風創作作品制作をする。（屏風に篆書・隸書・草書の中から好きな書体を選び、構成を考えて好きな文字を書体を特徴を基に制作する） ・半切四分の一看板作品制作をする。（架空の店の看板を考え、店のテーマにふさわしい書体と趣で書く）	・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	- や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	
7月				6
8月				
9月	●刻字 ・書を凹凸で表現する。（書稿作成／彫刻刀で刻す／着色する） ・はがき大の書作品を制作する。 ・彫刻刀での刻し方を知る。 ・アクリル絵具の使い方、色の調合についてを知る。 ・拓本を採る。 ・拓本の仕組みを知る。 ・作品・拓本の鑑賞	●刻字 【知識及び技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解させる。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・刻字の特質とその歴史について理解を深めさせる。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・刻字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に刻字の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に刻字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●刻字 【知識及び技能】 ・刻字を構成する様々な要素について理解している。 ・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・刻字の特質とその歴史について理解を深めている。 ・刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・刻字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】	6
				8

10月

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		・主体的に刻字の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に刻字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	●漢字の書の作品制作2 ・全紙二分の一に篆書・隸書・草書いずれかの古典を選択し臨書作品を制作する。 ・古典の特徴を調べる。 ・古典の特徴を基に作品制作する。 ・作品に応じた用具（筆・紙）を使用する。 ・大画仙紙へのまとめ方を学習する。 ・長落款の書き方を知る。 ・長落款を作文して書く。 ・作品鑑賞をする。	●漢字の書の作品制作2 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●漢字の書の作品制作2 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解を深めている。 ・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 ・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	8
1 2 月				6
1 月	●仮名の書 ・仮名の書の特徴を知る。 ・古今和歌集の古筆の比較鑑賞（関戸本古今和歌集／高野切古今和歌集第一種） ・自然を尊重する心を反映した散らし書きの鑑賞（継色紙／升色紙／寸松庵色紙） ・和歌を散らし書きで構成し、文字の交換をして独創的な作品制作をする。	●仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解させる。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解を深めさせる。 ・仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫させる。 ・仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 ・生活や社会における仮名の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・仮名の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・仮名の書の特質とその歴史について理解を深めている。 ・仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、仮名の書の表現形式に応じた全	6

	指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
			体の構成について構想し工夫している。 ・仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 ・生活や社会における仮名の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に仮名の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
2月	●漢字仮名交じりの書の作品制作 ・画仙紙半切三分の一に、好きな語句を意図に応じた書風・用具で制作する。 ・作品発表をする。 ・近現代の作品鑑賞をする。	●漢字仮名交じりの書の作品制作 【知識及び技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解させる。 ・名筆や現代の様々な表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。 ・漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けさせる。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。 ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字仮名交じりの書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字かな交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。	●漢字仮名交じりの書の作品制作 【知識及び技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・名筆や現代の様々な表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。 ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ・漢字仮名交じりの書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。 ・生活や社会における漢字仮名交じりの書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。 ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
3月				

年間授業計画様式

江戸川高等学校定時制 令和6年度 商業 情報処理 年間授業計画

教 科： 商業 科 目： 情報処理 単位数： 2単位

指導内容	科目 国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	------------------	----------	----------

対象学年組：第4学年選択科目
教科担当者：高原 哲也
使用教科書：情報処理 新訂版
使用教材：教科書

	指導内容	情報処理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 ビジネスと情報	・ビジネスの諸活動における情報の役割とコンピュータを利用した情報活用の重要性を	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	2
5月	1章 情報モラル 4章 ビジネス文書と表現	・情報化社会に参画するために個人が身につけるべき情報モラルについて学ぶ。 ・コンピュータや周辺機器の仕組みと、ソフトウェアの役割を理解し、目的に応じた機器 ・文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たして	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	3 3
6月	4章 図形と画像の活用 基本文書の作成 ①	・図形や画像情報の活用により情報の簡潔化、明瞭化、印象の強化などの効果が期待できることについて理解させる。 ・ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解させるとともに、基本的な社内文書や社外文書を取り上げ	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	3 3
7月	一学期期末考查試験の実施 および解説	授業で学んだ知識を考查試験でしっかりと発揮できるように指導する	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	1
8月				
9月	4章 基本文書の作成 ② 応用文書の作成	・ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解させるとともに、基本的な社内文書や社外文書を取り上げ ・ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を習得させる。	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	3 3
月	4章 応用文書の作成	・ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を習得させる。	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	6
月	2章 情報通信ネットワークの概要 ビジネス情報の検索と収集	・情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について学ぶ。	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	4 4
12月	二学期期末考查試験の実施 および解説	授業で学んだ知識を考查試験でしっかりと発揮できるように指導する	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	1
1月	2章 ビジネス情報の受信と発信 学年末考查試験の実施 および解説	・電子メールの利用方法について学ぶ。 授業で学んだ知識を考查試験でしっかりと発揮できるように指導する	考查試験と出席を重視して評価するが、提出物や授業態度等も	3 2
2月				
3月				